

「活躍する地域の代協」

都道府県代協レポートリレー

第34回

山梨代協

山梨代協は会員数120店、3支部で活動しており、他代協と同様に代理店合併・吸収による代理店数は減少していますが、専業代理店の組織率は64.2%となっております。

7年ほど前より、新支部を新設し、理事・支部幹事共に若返りを図ってきたこともあり、代協事業および施策に関しては積極的に参加し、活動する機運は醸成されつつあります。

2021年度日本代協三冠王においては五冠を達成し、同じ南関東ブロックの神奈川代協と共にブラチナ三冠の表彰を受けました。

仲間づくり、トータルプランナー受講者、BCP作成、ぼうさい探検隊、出前講座の取組みの5項目を達成しました。特に仲間づくりに関しては8年連続目標達成V8を獲得しています。

また消費者保護のために、会員の資質向上とともに、会員に役立つ代協を目指し活動を行っています。一般消費者、会員の代協活動への認知不足解消のため、新聞広告等を積極的に利用して、活動をアピールしています。

定時総会時には、損害保険と消費者や企業が関心の高い項目について、

対談形式の構成で新聞一面広告を企画し会員代理店名の掲載とともに山梨代協の浸透を図っており、2021年度には、熊本代協の協力の下、公益法人全国消費生活相談員協会、熊本代協、山梨代協との三者鼎談とし、熊本地震の際の地震現場での対応経験を基にした話を中心に、消費者の望むこと、保険代理店にできることを話し合い、紙面で消費者に保険代理店の必要性をアピールすることができました。

今年1月には山梨県警察とサイバーセキュリティに関する協定を結び、新聞、テレビ等でサイバー犯罪によるリスクを呼び掛け【写真①】、また、そのことを契機に2022年度の総会時には、山梨県警生活安全部サイバー犯罪対策室、情報処理企業で組織する協同組合、山梨代協との三者鼎談を新聞一面広告として掲載し、企業へのサイバーリスク意識を高めることができました。

会員への資質と価値の向上を促すセミナーとしては、BCP作成、事業継続力強化認定セミナーや、代理店賠償責任保険セミナーの他、2022年2月には「山梨代協フォーラム2022」と題し、第一部で保険会社7社の支店長に各社の施策と代理店に望むことをお話しいただき、第二部では代理店4社による、「10年後存続する為に、今何をすべきか」をテーマにしたパネルディスカッションを企画し好評を得ました。

社会貢献活動としては長年の献血活動【写真②】やフードバンク支援、河川清掃の他、地震保険普及・盗難防止・無保険バイク撲滅も実施しています。

2年度の総会時には、山梨県警生活安全部サイバー犯罪対策室、情報処理企業で組織する協同組合、山梨代協との三者鼎談を新聞一面広告として掲載し、企業へのサイバーリスク意識を高めることができました。

会員に真に必要なとされる組織、会員の悩みを解消し、将来に向けての指針を示すことができる組織としての山梨代協を目指し、役員はそのためにできることを模索し会員に提供していきます。

対談形式の構成で新聞一面広告を企画し会員代理店名の掲載とともに山梨代協の浸透を図っており、2021年度には、熊本代協の協力の下、公益法人全国消費生活相談員協会、熊本代協、山梨代協との三者鼎談とし、熊本地震の際の地震現場での対応経験を基にした話を中心に、消費者の望むこと、保険代理店にできることを話し合い、紙面で消費者に保険代理店の必要性をアピールすることができました。

今年1月には山梨県警察とサイバーセキュリティに関する協定を結び、新聞、テレビ等でサイバー犯罪によるリスクを呼び掛け【写真①】、また、そのことを契機に2022年度の総会時には、山梨県警生活安全部サイバー犯罪対策室、情報処理企業で組織する協同組合、山梨代協との三者鼎談を新聞一面広告として掲載し、企業へのサイバーリスク意識を高めることができました。

会員への資質と価値の向上を促すセミナーとしては、BCP作成、事業継続力強化認定セミナーや、代理店賠償責任保険セミナーの他、2022年2月には「山梨代協フォーラム2022」と題し、第一部で保険会社7社の支店長に各社の施策と代理店に望むことをお話しいただき、第二部では代理店4社による、「10年後存続する為に、今何をすべきか」をテーマにしたパネルディスカッションを企画し好評を得ました。

社会貢献活動としては長年の献血活動【写真②】やフードバンク支援、河川清掃の他、地震保険普及・盗難防止・無保険バイク撲滅も実施しています。



写真①



長年の献血活動(写真②)